

北京オリンピック地域予選競技会（グループG）  
参加人馬選考競技会 実施要項（障害馬術）

障害馬術競技本部

1. 期 日 平成19年5月2日～4日
2. 場 所 ドイツ・ハーゲン
3. 参加条件 地域予選競技会に参加申込み（第1次・第2次）を期日までに行った人馬。  
参加馬は、FEI パスポートを取得していること。  
第1次申込み 平成19年3月31日（選手名のみ）  
第2次申込み 平成19年4月20日（人馬）  
※ 第2次申込みは第1次申込みを行ったものに限る

4. 競技内容

- (1) 種 目
- |              |                                       |
|--------------|---------------------------------------|
| ①ウォーミングアップ競技 | H140cm<br>W160cm                      |
| ②2回走行競技      | H150cm～160cm<br>W200cm<br>水濠400～450cm |
- FEI規程 基準A 273条1, 2.2, 3.1, 4.1

- (2) 日 程
- |      |                          |
|------|--------------------------|
| 第1日目 | 入厩<br>インスペクション<br>打合せ会   |
| 第2日目 | ウォーミングアップ競技<br>打合せ会（ドロー） |
| 第3日目 | AM 第1走行<br>PM 第2走行       |

5. 適用規程

FEI障害馬術競技会規程第22版及び日本馬術連盟競技会規程第19版による。

6. 参加申込

- (1) 申込期限 参加料の納入をもって参加申込を受理したものとする。  
平成19年4月23日までに参加料を納入すること。  
※第2次申し込みを行った者に限る。

## 7. 参加料等

- (1) 選手参加料 1 選手 30,000 円
- (2) 馬匹登録料 1 頭 10,000 円
- (3) 振込先 みずほ銀行 九段支店 普通預金 703597  
社団法人日本馬術連盟

## 8. 選考方法

- (1) 本選考競技会は、2006 年に開催された世界馬術選手権大会において北京オリンピック個人出場枠を獲得した人馬を除く参加申込み人馬が 4 人馬以上となった場合に実施する。
- (2) 2 回走行競技の成績の上位より、代表 3 人馬と補欠を選考する。なお、補欠人馬の数及び組合せは参加申込み状況と本選考会の成績を考慮し決定する。

## 9. 馬の輸送

- (1) 馬匹の輸送は各自で手配すること。なお、輸送に係る経費は選手負担とする。
- (2) 欧州における馬の防疫条件を満たす予防接種や健康検査を行っていること。

## 10. 馬糧・敷料

- (1) 馬糧は各自が持参し、退厩の際は全て持ち帰ること。
- (2) 敷料は、障害馬術本部で調達するが、費用は選手の負担とする。

## 11. 服装及び馬装

- (1) 服装は、日本馬術連盟競技会規程第 19 版による。
- (2) 馬装は、国際馬術連盟障害馬術競技会規程及び日本馬術連盟競技会規程による。

## 12. その他

- (1) 打ち合わせ会で承認あるいは確認された事項を優先する。
- (2) 代表として選考された人馬は、北京オリンピック地域予選競技会終了までの期間ナショナルチームとして監督の指揮下に入る。
- (3) 補欠選手の有効期間は、代表人馬が地域予選競技会に入厩するまでの期間とする。
- (4) 競技の前にインスペクションを実施し、競技終了後ドーピング検査を実施する。
- (5) 選手及びその関係者の宿泊は各自手配すること。また、現地での移動についても各自で行うこと。

《注意》北京オリンピックの出場資格要件として、馬匹所有者は、2007 年 12 月 31 日時点で日本国籍であることを要する。